

県道及び市道の整備について

一般質問



織部 徹 議員
(21 政会)

問 県道野上河高線の中国道を越えていく手前の40メートルほどが、自動車がすれ違えないくらい狭いので、北側の土手尻を立ち上げて道幅を広げるといったことを緊急的な工事としてできると思うがいかがか。

答 加東土木事務所も何とか整備したいと考えており、予算を確保した上で安価な金額によって最大の効果を出すような形で進めていきたいという回答をもらっています。

問 県道下滝野市川線整備の今後について。

答 事業延長約700メートルのうち、平成29年度は和泉交差点東から約90メートルの整備と馬橋歩道橋の下部工2基を施工し、平成31年度の事業完了を目標に進める予定ということです。また、馬橋を越えて東への整備は、平成32年以降の工事着手になると加東土木事務所から連絡をもらっています。

問 市道豊倉日吉線のイトーヨーギョーから北へ日吉小学校に抜ける道路及び市道野上越水線の満久交差点から野上町の大日寺手前までの道路が、横にひび割れができるなど非常に傷んでおり、道路端の白線や止まれの文字、横断歩道なども消えかかり、特にS字になっている西野々町、池上町あたりはひどい状況であるが、どのように考えているのか。

答 これらの路線は、非常に傷んでおり、中央線、白線、そして横断歩道といった規制標識も消えかかっているという状況です。安全確保のために、早急に部分的な補修と白線の復旧を行いたいと思います。

問 池上町公民館から南のイトーヨーギョーまでの市道で溝蓋を掛けたところから南にも溝蓋ができれば、自動車がすれ違えることができると思う。また、中国道の上を越えてバイコンの手前まで出ていく道がガタガタの状況なので、何とか改善してほしいと思うがいかがか。

答 池上町内の側溝の蓋掛けは、数十メートル残っており、順次整備したいと思う。そして、中国道の高架橋から南側は、緊急に整備していきたいと思っています。

人口増対策について

一般質問



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 加西市が考えるコンパクトシティとは。

答 市街化調整区域に就業地や居住地が分散していることから、市街化区域の活性化だけでなく、市街化調整区域の土地利用も考えまちづくりを進めることと考えています。

問 市街化区域に人口が一極集中していることの解決策として、人口減少抑制策は調整区域を重点的に行い、地域のことは自ら考えつくり上げる「ふるさと創造会議」の意思決定を尊重し、バックアップするのが市役所のあり方と考えるが。

答 ご指摘のとおり中心市街地の機能を向上し、調整区域やその他区域は、地域の文化と伝統がきちっと引継がれるようなコミュニティの充実を見据えたまちづくりが必要だと思っています。

問 北条旧市街地元気なまち再生事業では、本当に地区住民のニーズをくんだまちづくりが進んでいるのか。

答 一つの課題に対していろいろな担当部局がそれぞれ事業展開しているという現実には確かにあります。今後はプロモーションも含めて方向性を出していきたいと思っています。

問 教育施策が人口流入、流出の歯止めになっているか。

答 教育施策はすぐに効果、評価が表れるものではありません。

せんが、多くの施策を発信するとともに積み重ねにより、評価を得られるようにと考えています。

問 国の地方創生会議においても、人口増・流入・移住は、仕事と教育をセットで考えなければと言われており、女性目線での子育て支援が必要と考えるが。

答 多くの魅力あるものを独自で邁進していくところがあり、統一性に欠けることも認識しています。現在、庁内にシティプロモーションの推進プロジェクトチームを設置し、ビジョンの策定を行っています。

■その他の質問項目

- ・ 地方創生拠点整備交付金不採択について
- ・ ふるさと納税について
- ・ 人材育成・確保について